



小川 剛 (清風クラブ)

雇用、労働・脱炭素社会に向けた 取り組みについて

労働局との雇用対策協定について

問 人口減少が進む本市は、安定した雇用創出に最優先で取り組みをすべきである。労働局と協定を結び地域の人材確保や就職支援に取り組む事も必要だがどうか。

答 ハローワーク安中が事務局の、雇用対策推進協議会に本市も参加し、実務的な意見交換や情報交換をしています。若者や女性の就職支援、障がい者の就労支援、障がい者雇用率の底上げ等、雇用・労働の各種取り組みの推進を図れるよう今後も進めます。
トップセールスについて

問 市長を中心とした企業訪問等の実施状況はどうか。また、本市は低い災害リスクがアピールポイントだがどうか。

答 訪問で市内外企業の事業拡張予定や企業の業況の確認、事業展開の方向性を的確に捉える事を進めています。災害の少なさに着目し進出した企業もあるの

で、アピールポイントとします。

脱炭素社会への取り組みについて

問 秋間観梅公園に植樹した早生桐は、5年で成木になる。今後の用途や耕作放棄地対策としての農地再生等はどうか。

答 木材チップを使用したバイオマス発電や家具等の木材資源で活用が可能となります。将来的には、水素発電の原料として活用できるよう研究・検討します。耕作放棄地への植樹は、有効な取り組みと考えます。



本年6月に市内耕作放棄地に植樹した3mになる早生桐



松井 隆雄 (新公会)

松井田庁舎・農道を含む生活道路・ 獣害について

松井田庁舎について

問 活用の考え方は。

答 今後も支所機能を維持し地域にあつた部署配置を検討します。地域性にあつた部署とは。また現在配置されている部署は。

答 森林や鳥獣対策を取り扱う部署などです。配置されている部署は、総務管理課、住民福祉課、農林課、観光経済課及び教育委員会です。
問 空きスペースができた場合の活用方法は。

答 子育て支援、市民活動、テレワーク、サテライトオフィス等の誘致を検討し、新庁舎建設事業と並行して実施します。
農道を含む生活道路について

問 道路維持管理の現状は。
答 市が管理する道路は1628キロで年々対応箇所が増加し、現在は、幹線道路、通学路を優先し農道や生活道路は通行に危険がないものを除き、土地所有

者や耕作者の方に適切な管理をお願いしています。

問 住民の道路清掃活動は。

答 今後は高齢化や世帯減少が見込まれ、地域の実情を踏まえた市道管理の在り方を検討し対応します。

猿害について

問 今後の対策については。
答 猿の被害防止のため、今年度変更した安中市鳥獣被害防止計画に基づき、防除、捕獲の両面で対策を推進します。



通り抜けできなくなった農道

早生桐…5年で15mの成木となり、一般的な桐の約10倍の二酸化炭素の吸収量がある品種で地球温暖化対策に寄与すると言われている。